

本郷産業団地に オート化学工業(株)の 進出が決定

県と市で整備を進める本郷産業団地に、シーリング材・接着剤などを製造するオート化学工業株式会社(東京都台東区)が新工場を建設することが決まり、県と市、同社は11月29日、市役所で立地協定を締結しました。

同社は、平成32(2020)年から造成が始まる第2期工事分7.4ヘクタールのうち4.2ヘクタールを取得する予定。平成33(2021)年に着工し、翌年10月に操業を開始する予定です。また、従業員約30人を地元から雇用する見込みです。

調印式で天満祥典市長は「明るい話題で市の活性化につながる」と歓迎、岩



▲協定書に署名する(左から)天満祥典市長、岩田邦弘社長、佐伯安史県商工労働局長

田邦弘社長は「地元の人を迎え、県そして市に根付く企業にしていきたい」と抱負を述べました。

県と市は引き続き、本郷産業団地への企業誘致を進め、産業振興や雇用の確保をめざします。

商工振興課

☎0848・67・6013

大和中学校の生徒が 新たなお菓子を考案

大和中学校の1年生が考案したお菓子が商品化され、先月17日、同校で発表会が開かれました。子どもたちが新たな地域の特産物を開発・販売するという市のキャリア教育事業の一つで、生徒たちのアイデアを基に有限会社共楽堂が商品化しました。

生徒たちは同社の人気商品「広島チョコラ」をベースにした新商品の開発に取り組み、地元食材の研究や同社の工場見学などを経て新商品を企画。チョコレートプリンに桃のホイップクリームをあしらった「カラフル広島チョコラプリン」と広島島のレモンを使った「スマイル・レモン・広島チョコラ」の2品が商品化されました。

発表会でプリンを試食した同校の相良亜希さんは「いろいろな食感が楽しめておいしい。みんなにも食べてもらい



▲自分たちが考案した商品を試食する生徒たち

たい」と話しました。お菓子は来月8日の三原神門市で1日限定で販売される予定です。

経営企画課

☎0848・67・6270

新はしご付消防車の 就役式を開催

先月19日、市消防本部に新しいはしご付消防自動車「竜王号」(3代目)が就役しました。平成3年に就役し、行事などでも市民に親しまれてきた2代目の竜王号は老朽化により役目を終え、惜しまれつつ退役しました。

新車両は12階建ての建物に相当する約35メートルの高さまではしごを伸ばすことができ、先端のバスケットには

遠隔操作が可能な放水装置とカメラを装備しています。また、はしごを斜め下方向に伸ばすことができるため、護岸から海面などへはしごを伸ばし水難救助に当たることもできます。新車両は装備品なども含め2億1,340万8千円で導入しました。

就役式で天満祥典市長は「市民の皆さんが安全に安心して暮らせるよう、新車両を活用していきたい」と述べました。

新車両は今年20日の消防出初式で一般公開される予定です。市消防本部では、市民の皆さんの安心・安全のため、消防装備の充実を図るとともに、消防団や自主防災組織と一丸になって防災・減災に取り組めます。



▲高所での消火・救助活動で力を発揮する新車両

消防本部警防課

☎0848・64・5924